

第32回福岡歯科大学卒業式・第22回大学院修了式

福岡歯科大学の第32回卒業式並びに **〔表彰者〕**

第22回大学院修了式が、3月20日本館講堂で執り行われ、北村憲司大学長より歯学部卒業生100人に卒業証書・学位記が手渡され、大学院修了生7人には博士(歯学)の学位記が授与されました。

学業成績優秀者

村上千尋【理事長賞】
笹倉彩【学長賞】
五島有樹恵【学長賞】

学生会功労者

高田俊輔【総務委員長】
有田光太郎【体育部部长】
小松俊也【学術文化部部长】
錦戸浩【学園祭実行委員長】
福岡佑【体育祭実行委員長】



【学位論文紹介】

【学位授与日:平成22年3月20日】

甲 第209号 松本典祥	ラット根尖病変創傷治癒に及ぼすEmdogain®gelの効果の解明
甲 第210号 畑実	Expression of podoplanin in the mouse salivary glands (マウス唾液腺におけるポドプランリンの発現)
甲 第211号 井上知加予	自己組織化マップによる骨格性下顎前突患者の軟組織側貌パターンの抽出
甲 第212号 長谷川綾	Changes in lip and cheek pressure due to simulated maxillary dental arch expansion (模擬的上顎歯列弓の拡大による口唇圧および頬圧の変化)
甲 第213号 向坊友宏	スライディングメカニクスにおける牽引方法の違いが切歯動態に及ぼす影響 摩擦抵抗値の測定と光弾性応力解析
甲 第214号 白石朋子	Evaluation of T2 values and apparent diffusion coefficient of the masseter muscle by clenching. (噛みしめによる咬筋のT2値とみかけの拡散係数の変化の評価)
甲 第215号 岩澤佳奈	リンパ管内皮細胞におけるTNF- α 、LTAおよびLPSによる白血球接着因子の発現誘導に関する研究

【学位授与日:平成22年3月31日】

乙 第80号 野上堅太郎	α 2-agonistの全身投与および局所麻酔薬への添加が局所麻酔効果および局所血流量に及ぼす影響
-----------------	--



大学院修了生

第12回福岡医療短期大学卒業式・第11回専攻科修了式

福岡医療短期大学の第12回卒業式が3月11日福岡歯科大学本館講堂で執り行われました。歯科衛生学科75人、保健福祉学科24人の卒業生に対し栢豪洋短大学長より卒業証書が手渡され、専攻科口腔保健衛生学専攻の16人には修了証書が授与されました。なお、専攻科修了の15人は、独立行政法人大学評価・学位授与機構の定める学修成果・試験の審査に合格し、「学士(口腔保健学)」の学位記も併せて伝達されました。

〔学業成績優秀による表彰者〕

歯科衛生学科

吉永綾子【理事長賞】
高島朋子【短大学長賞】
佐藤由香里【短大学長賞】

保健福祉学科

河野智子【理事長賞】
藤雪絵【短大学長賞】

専攻科学位取得者

井澤舞 甲木裕理 實光彩 松田浅美
伊藤仁美 金子睦 塚本葉子 松本亜矢子
犬丸祐里 近藤悠美 富永美妃 村串愛
加塩奈津希 齊藤里香 前田豊美



●●● 定年退職を迎えて ●●●

平成22年3月、定年退職されたお二人からのメッセージです。



成育小児歯科学分野 教授 本川 渉

私は昭和48年5月に当時吉田名誉教授が主宰されていた小児歯科学教室に助手として入局しました。丁度1か月前に本学が開校したばかりの時、1期生が入学した年です。それから早いもので約37年が過ぎました。まさに光陰矢の如しです。本当にこれまで長年本学に奉職出来たことを心から感謝しています。

吉田教授の下、教室作りと一期生の講義や実習、それに当時は“虫歯の洪水”といわれる時代で、多くの患者がランバントカリエスのケースでしたので、診療に追われる毎日でした。とりわけ一期生は学生数が二百数十名と多く、小児歯科の基礎実習や臨床実習は大変でした。クラブ関係では、1期生が作ったカントリーアンドウェスタンの顧問や弓道部や柔道部の部長を、また陶芸部を学生さんと共に作りました。これまで学生さんとの楽しい思い出がたくさんあります。

正直言って、当初はこんなに長く勤務できるとは考えていませんでした。本学に長年勤務できた上に、恩師である吉田教授の後任教授として小児歯科学教室を主宰する幸運にも恵まれましたし、教室にはすばらしい卒業生が沢山残ってくれました。また、これまで多くの学生さんとも交流ができました。平成15年から4年間病院長をさせてもらい、いろんな経験をさせていただきました。さらに、この定年の年にも病院長の大役を仰せつかりましたことを、田中健蔵理事長はじめ皆様に感謝申し上げますとともに、微力ながら少しでも大学の発展に貢献できたのであれば本当に光榮に存じます。これまで皆様方からいただいたご芳情に心より感謝するとともに、これからの本学の更なる発展を祈念申し上げます。



分子機能制御学分野
准教授 真田 正幸

昭和49年3月1日に本学の生物学研究室に助手として赴任して以来、基礎生物学や細胞生物学や細胞分子生物学実習を担当してきました。私が赴任した頃は田んぼの中に病院棟だけが建っているような状況でした。その後、本館やアニマルセンターや体育館ができ、更には短大も開設され、本学は立派になったと思います。このような環境の中で歯科教育に関われたことを感謝しております。

36年間大変お世話になりました。皆様方のご活躍、福岡歯科大学の更なる発展を祈念します。